

第9章. フォローアップ

県では、～いつでもどこでもだれでも安心できる あきたの水～を基本理念として、「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から整理した実現方策を進めることで、水道の理想像に近づくものと考えています。

しかし、我が国の水道を取り巻く環境は、人口減少社会の中にあり、昨今は自然災害に見舞われ水道施設にも被害が及んでいます。また、こうした社会情勢に対応するため、法令などの改正や、新しい水道技術の推進など、策定時には想定していない事象が起こりうる可能性があります。実現方策を推進するためには、目標期間中、水道事業を取り巻く環境や実施方策の取組状況を定期的に確認するとともに、県水道ビジョンを見直す必要があります。

県水道ビジョンでは、PDCAサイクルに基づきフォローアップを実施していきます(図 9-1)。

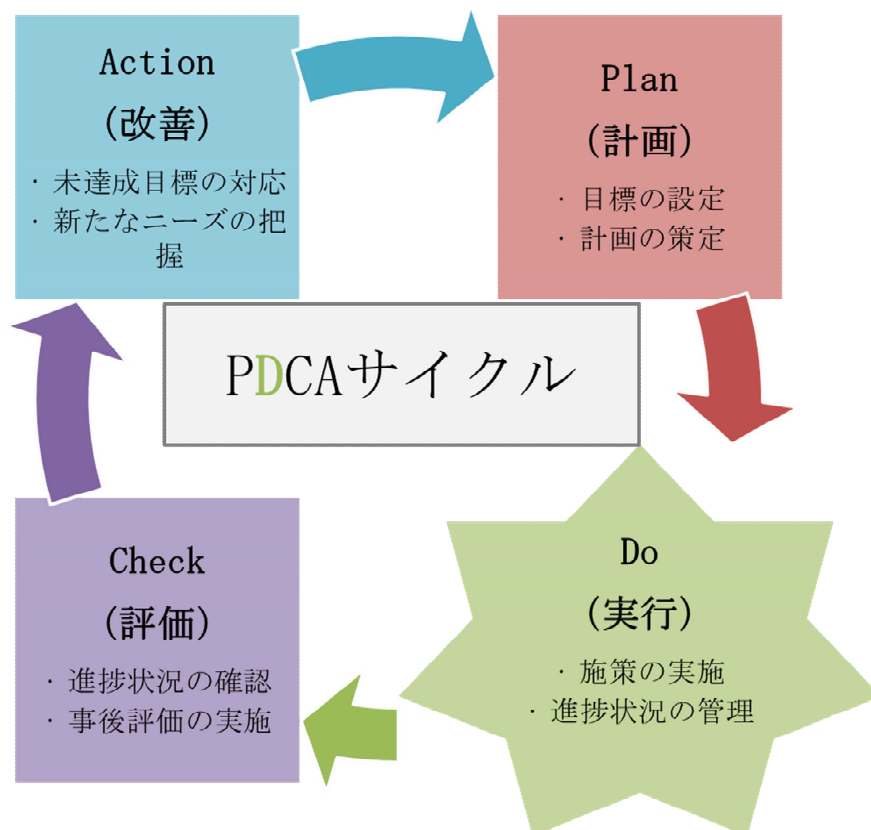


図 9-1 PDCAサイクル

県水道ビジョン策定にあたり、県内25市町村の担当者から広域連携や水道関係者の役割分担と連携等について意見を伺うため、秋田県水道ビジョン策定作業部会を開催したところ、広域連携は困難、市町村の役割は反対意見なしといった意見が大半を占めました。一方、ソフト面の広域連携の検討は可能、市町村の役割を適切に運用できるか不安という意見も複数あったことから、県水道ビジョンに掲げた実現方策を推進するため、市町村間の情報交換及び意見交換の場を定期的に設けるとともに、市町村の状況に応じたフォローアップを実施することで、水道の理想像を目指します。

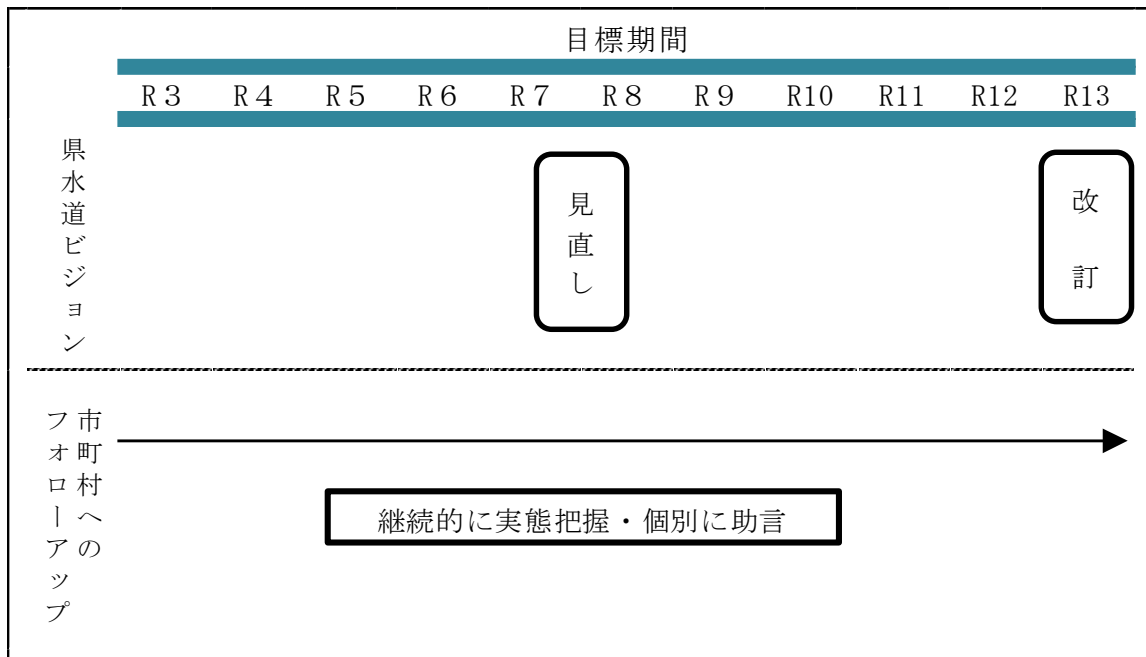


図 9-2 対応スケジュール